

## 6.2 教育研究指導のあり方

### 2005年度以降に設定した目標

4. 学修困難者に対する学修支援を図ること

### 進捗状況報告

- (1) 1. 内容の充実をはかるとともに、「履修登録について」「FAQ：よくある質問」を配布して理解を深めている。  
2. 2007年度から各コース代表者による「コース選択ガイダンス」を実施する予定である。  
3. 2007年度在学学生ではMDS履修登録者は4年生23名、3年生6名、2年生8名であり、十分に浸透しているとは言い難い。ジョイント・ディグリー制度の利用を目指している学生数は把握していない。この状況を改善するためには、ジョイント・ディグリー制度に関する説明の充実を検討すべきである。  
4. 2006年度から留年生ならびに留年が危惧される学生を対象に「学生生活個別相談会」を開催している。  
(2) 上記のほか、導入教育の充実については、新カリキュラム全体の検証と改善の中で検討してゆく予定である。

### 学内第三者評価

履修指導やコース選択ガイダンスの充実に着手し、また、リメディアル教育の一環として、学修に困難を感じている学生に「学生生活個別相談会」を実施していることは評価できる。